

Oh!Me

インターネットと連動した【滋賀生活情報紙】



この情報紙は「滋賀ガイド」と提携しています
滋賀ガイド www.gaido.jp

vol.278・7月23日 毎週木曜発行 **4面にプレゼント情報!**
 ●Oh!Me 編集室/株式会社ヤマプラ:近江八幡市桜宮町294 TEL0748-34-8872 FAX0748-34-8927
 ●広告/滋賀毎日広告社:大津市打出浜3-16 TEL077-522-2603
 ●発行/毎日新聞大阪本社開発宣伝部:大阪市北区梅田3-4-5 発行部数:100,000部

素敵な人



創作人形作家
藤堂 仁美さん
 (56歳・近江八幡市在住)

人形作りは心の安らぎ



撮影:西田雅彦
 セピア色の幸せ「1/f ゆらぎ」

創作人形を作り続けて28年になる藤堂仁美さんが今回の素敵な人。工房がある自宅で制作への思いを聞いた。

館(神奈川県)で開かれた公募展「アーツクラフツ展」で、上位入賞するなど、高い評価を受けている。

数々の賞を受賞

藤堂さんは、洋人形、和人形、レリーフなど、さまざまな人形を作る創作人形作家。紙粘土や磁器を主素材に、美しい女性や無邪気な子ども、雛人形などの作品を手がけている。母親の腕の中で安心して眠る赤ちゃんの姿を表現した代表作の一つ「1/f(エフ分のイチ)ゆらぎ」は、04(平成16)年にパリで開かれた「美の解放展 in ルーブル」で創造の自由賞を受賞した。08(平成20)年には、箱根彫刻の森美術

4年間で120体

藤堂さんが創作人形を作り始めたのは3児の母となった28歳のとき。テレビ番組で「竹のへら」一つで人形の顔が出来上がっていくシーンを見て、衝動的に自分も作ってみたいと思った。紙粘土で人形を作っている友人がいたので、一緒に作り始めた。



ふる里の詩「なかよし」
 撮影:西田雅彦

幼いころ、家庭の事情で家族と離れて暮らしていた時から、人形は心の内を話せる特別な存在だった。本を頼りに独学で人形制作に励み、4年間で120体も作った。「出来た人形は、欲しいと言って下さる方にプレゼントしました。喜んでもらえる、とてもうれしく思いました」。

温かい言葉が宝物

94(平成6)年からは、大阪に住む川崎裕子先生に師事、7年間、毎月教室に通い続けて腕を上げていった。努力の甲斐があり、97(平成9)年には滋賀銀行で初めてロビー展を開催した。会場に置いた感想用ノートには、多くのメッセージが寄せられた。

ノートは今でも藤堂さんの宝物で、つらいときやくじけそうなときは、感想を読み自分を奮い立たせている。

心の向くままに

28年もの間、人形を作り続けて来た秘訣は? と、尋ねると「美容師や服飾デザイナーなど、いろいろな気分を味わえます。人形を作っ



ていると心が安らぎ、何よりも楽しい」と返事が返ってきた。最近は紙粘土の人形だけでなく、磁器の「ビスクドール(※)」にも挑戦し、独学で5年間勉強を続けて来た。「作りたい時に、作りたいものを、心の向くままに作る。その結果、『なんかええなあ』と思ってもらえたら最高です」。藤堂さんの作品はいずれも温かく、見ているだけで優しい気持ちにさせてくれる。これからも素敵な人形を作り続けてほしい。

(取材・澤井)

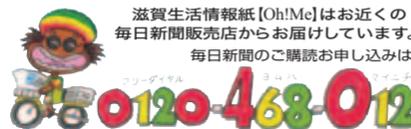
詳しくは www.gaido.jp/2781

※ビスクドール
 19世紀にフランスやドイツで流行した、頭部と手が磁器でできている西洋人形。布でドレスを作って着せたりする。

藤堂仁美人形展・ガラスと漆器展

- 期間:8/28(金)まで ●時間:10:00~17:30
- 場所:和菓子鶴屋吉正内「ギャラリー美秀」(守山市守山2-2-45/090-8121-5059)
- 営業日:木曜日、金曜日、毎月17、18日のみ
- 10/15(木)から「近鉄手づくりバザール(近鉄百貨店草津店)」にも出店予定。詳細は藤堂さんのホームページで。

仁美人形工房 <http://hitomidoll.jp>



解決は、まず電話から。
 法的トラブルなら、法テラスへ。



おなやみなし
0570-078374

〔夜間・土曜日もどうぞ〕 平日9:00~21:00 土曜日9:00~17:00 犯罪被害者支援ダイヤル **0570-079714**

「法テラス」は国が設立した公的な法人です。日本司法支援センター **法テラス**

<http://www.houterasu.or.jp> 法テラス 検索

